



9月5日(火)、旭小学校に、朝日小学生新聞が取材に来ました。地域ぐるみで、海洋教育が盛り上がっているということで、取材に来られたようです。

この日も、ウツボや色鮮やかなテンスダイ、アオリイカなどが水槽の間入りをしていました。子どもたちは、水槽の周りに集まって盛り上がっていました。子どもたちは、毎朝登校すると、まず水槽を見るという習慣がついているそうです。



6つの水槽を取材した後、飼育委員会(6年生3人、5年生4人)のメンバーもインタビューを受けていました。

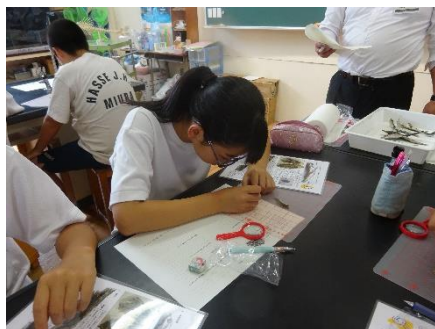
いつも海の生き物を運んでくださっている保護者の方も取材を受けていました。ほぼ毎日のように、珍しい生き物を持ってきていただいて、大

変ありがたいです。

8日(金)に、初声中学校2年生が、県立海洋科学高校の先生方の出前授業を受けました。

内容は、「煮干しの解剖」。先生方の丁寧な説明とわかりやすい資料で、子どもたちは、楊枝を使って解剖を進めていきます。脳、心臓、肝臓、耳石まで、見る事ができました。

3クラスで行いましたが、生徒はみんな大喜びで、真剣に取り組んでいました。海洋科学高校の先生方、たいへんありがとうございました。生徒の感想は次の通りです。



「小さい体の中に、脳とか内臓とかがしっかりあることを知った」「煮干しを食べながら解剖することができたので、すごくわかりやすかったです。ありがとうございました」「煮干しの体のつくりと、人間との違いが分かる場所や、臓器の特徴を知ることができて良かった」「海に興味がなく、解剖も嫌だと思いましたが、授業を受けて、すごく興味を持って楽しかったです」「肝臓が苦かった。いろんなところを分けて食べたから、おいしいところが分かってよかった」「授業中に質問した時、ちゃんと答えてくれたので

分かりやすかった」「魚の体内の仕組みは見たことがなかったし、あまり見る機会もなかったから、新鮮な気分でした。身がおいしかったです。ありがとうございました」「解剖することはめったにないことなので、とても面白かったです。煮干しではなく、他の魚も解剖してみたいと思いました」「このような授業をもっと増やしてほしい」「日常生活の中で役に立つことが、海洋教育にもあるんだなと感じた。肉食動物でもやってみたい」「次があれば、ナマコかアメフラシの解剖や、ゴンズイの毒素を調べるのをやってみたい」「煮干もいっぱい食べられたし、最高だった」



(文責 事務局長 渋谷 総一)

海洋教育についてのお問い合わせは、本研究所まで (046-854-9443)